

<平成30年度事業計画書>

【事業方針】

本年度は、2020東京オリンピック・パラリンピック（以下、オリパラ）の地元競技団体として次の事項を中心に具体的な活動と将来を見据えた検討を併行して進めなければならない。

必要に応じて、委員会等のチーム組成をするとともに、広く人材を集めたい。

- ・オリパラ後の「海の森競技場」の仕様および利用方法の決定に主体的に関わる
- ・パラローイング対応。都内競技者発掘・支援とレース運営オペレーションの習得
- ・前年の世界ジュニアボート選手権運営に積極的に協力する

各本部の事業については、オリパラを十分意識しつつ、加盟団体はじめボート界の皆様のニーズに耳を傾け、柔軟な発想で「継続とチャレンジ」の両立に努めたい。

競技開催事業については、昨年お花見レガッタで試験導入した「二部制」を見直し会期を3日間に延長する「チャレンジ」をする。これは、より一層、参加いただきやすい大会運営を目指すことを意図したものである。

普及事業についても、パラローイングにどのように取組むか担当者を決めて具体的な検討と活動を始めるなど、従来のボート教室・大会開催のほかあらたな「チャレンジ」をする。

強化事業では、国体において天皇杯獲得にチャレンジするとともに、引き続き、ジュニア発掘⇒強化育成⇒トップアスリートに成長という、東京スタイルの確立に向け努めたい。

そのために、大学だけではなく社会人クルーを擁する企業の加盟団体との連携強化を図りたい。各本部の事業計画は以下の通りである。

【各事業計画】

1. 競技開催事業

- ・以下の通り、競技会を開催する。

| | | |
|-------------|---------------------------------|----|
| 1月14日 | 第30回関東ブロックマシンローイング大会 | 戸田 |
| 3月23、24、25日 | 第67回お花見レガッタ 第28回東日本中学選手権競漕大会 | 戸田 |
| 6月23日、24日 | 第68回東日本選手権競漕大会（2,000m） | 戸田 |
| 7月29日 | 第3回東日本夏季競漕大会 | 戸田 |
| 10月13日、14日 | 第41回東日本新人選手権競漕大会 | 戸田 |
| | 第14回スカル選手権競漕大会 | |
| | 第28回東日本中学新人選手権競漕大会 | |

※お花見レガッタは3日間会期にて実施する。

2. 普及事業

- ・以下の通り、大会を開催する。

| | | |
|--------|---------------------|----|
| 7月29日 | 第2回東日本マスターズ競漕大会 | 戸田 |
| 10月13日 | 第18回谷古茂盾争奪マスターズ競漕大会 | 戸田 |
| 10月14日 | 第8回小学生レガッタ | |

- ・例年通り、活動を行う。

| | | | |
|------|-------|--------------|-----------|
| 東墨田 | ボート教室 | 1月～12月 | 毎月第1日曜日 |
| 東大島 | ボート教室 | 4月～10月 | 毎月第1土曜日 |
| 水元 | ボート教室 | 4月～11月 | 毎月第3土曜日 |
| 多摩川 | ボート教室 | 3月～11月 | 毎月1回～2回実施 |
| 日本橋川 | ボート教室 | 4月～11月（8月除く） | 毎月第3日曜日 |

3. 強化事業

- (1) 以下の通り、予選会を開催する。（高校関係は高体連との共催）

| | | |
|-------|-------------------------|----|
| 5月13日 | 国体少年チャレンジマッチ | 戸田 |
| 6月9日 | 第73回国民体育大会ボート競技 成年都予選会 | 戸田 |
| 6月17日 | 第66回全国高等学校選手権競漕大会 都予選会 | 戸田 |
| 9月16日 | 平成30年度関東高等学校選抜競漕大会 都予選会 | 戸田 |

- (2) 以下の事業を強化事業として実施する。

- ① 国体候補選手強化事業
- ② 国体強化遠征

- ・以下の通り、国体強化遠征を予定する。

| | | |
|-----------|----------|-----|
| 3月23日～25日 | お花見レガッタ | 戸田 |
| 4月28日 | グリーンレガッタ | 戸田 |
| 4月15日 | 三大学レガッタ | 戸田 |
| 4月20日～22日 | 中日本レガッタ | 愛知池 |
| 5月初旬 | 朝日レガッタ | 琵琶湖 |

- (3) 以下の6事業を公益財団法人東京都体育協会の受託事業として実施する。

- 国体候補選手強化事業
- ジュニア選手強化事業
- ジュニア育成事業
- オリンピック候補選手強化事業
- トップアスリート発掘事業
- グローバル指導者育成事業